



白浜町

議会だより

No. **65**

令和4年(2022)8月

発行 白浜町議会

編集 議会広報特別委員会

CONTENTS

令和4年第2回定例会・第3回臨時会	2
一般質問	10
町議会・町議会議長の主な動き	14
政務活動費の実績報告	15
次回定例会日程など	背表紙

(向平キャンプ村)

▷▷ 令和4年第2回定例会 (6月7日～6月22日)

7日	<p>第1日 【 開会、町長挨拶、提案理由説明 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会期の決定 ・提案理由説明（条例改正2件、補正予算5件、報告4件、工事請負契約の締結4件、物品購入契約の締結1件、協定の締結1件、その他1件）
16日	<p>第2日 【 一般質問 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小森議員、横畑議員、堅田議員、水上議員、辻議員 ※ P10～P12 に内容記載
17日	<p>第3日 【 一般質問、議案審議 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・溝口議員、黒田議員、廣畑議員、松田議員 ※ P12～P14 に内容記載 ・議案審議（人事案件1件）
21日	<p>第4日 【 議案審議、提案理由説明 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議案審議（条例改正2件、補正予算5件、報告3件、工事請負契約の締結4件、物品購入契約の締結1件、協定の締結1件、その他1件） ・追加議案提案説明（補正予算1件）
22日	<p>第5日 【 議案審議、閉会 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議案審議（補正予算1件、報告1件、人事案件1件） ・委員会発議案件（意見書2件、議員派遣1件、閉会中の継続調査申出1件）

<p>○ 白浜町小公園条例の一部を改正する条例について</p> <p>○ 白浜町過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法による町税の特例に関する条例の一部を改正する条例について</p>	<p>条例改正</p>	<p>補正予算</p> <p>○ 令和4年度白浜町一般会計補正予算（第3号）</p> <p>既定予算への補正額 1億1000万円</p> <p>補正後の歳入歳出予算総額 120億4165万円</p> <p>主な補正内容は次のとおり</p> <p>【総務費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化起業人制度派遣人材受入事業 520万円 ・コミュニティ助成金 250万円 ・申請管理システム導入事業 637万円 <p>【民生費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人番号カード交付事業 445万円 	<p>保育園感染症対策用品購入事業 455万円</p> <p>【衛生費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子宮頸がんワクチン定期接種事業 1169万円 <p>【農林水産業費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者経営発展支援事業 3375万円 <p>・新規就農者経営開始資金交付事業 1350万円</p> <p>・土地改良施設維持管理適正化事業 640万円</p> <p>【土木費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路附属物等長寿命化修繕事業 800万円 ・町道吉田線改良事業 2850万円 <p>【消防費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓練用AEDトレーナ等購入事業 90万円 <p>【教育費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園感染症対策用品購入事業 100万円 ・学童保育所感染症対策用品購入事業 360万円
--	-------------	---	--

○令和4年度白浜町一般会計補正予算(第4号)

既定予算への補正額

1億9150万円

・補正後の歳入歳出予算総額

122億3315万円

主な補正内容は次のとおり

【総務費】

・地域交通事業等確保維持支援金

1400万円

・ワーケーション促進事業補助金

1500万円

・庁舎等公共施設感染症対策事業

130万円

【民生費】

・住民税非課税世帯等臨時特別給付金

1億310万円

・子育て世帯生活支援特別給付金

1320万円

【農林水産業費】

・燃油価格高騰対策事業

500万円

【衛生費・観光費】

・公衆浴場等感染症対策事業

140万円

・向平キャンプ村感染症対策事業

1900万円

【消防費】

・救急等活動資機材購入事業

【教育費】
・学校給食費負担軽減事業
330万円

・社会教育施設感染症対策事業
560万円

【災害復旧費】

・林業用施設災害復旧工事費
600万円

○令和4年度白浜町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

既定予算への補正額

642万6千円

・補正後の歳入歳出予算総額

29億642万6千円

○令和4年度白浜町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

既定予算への補正額

△700万9千円

・補正後の歳入歳出予算総額

6億7549万1千円

○令和4年度白浜町介護保険特別会計補正予算(第1号)

既定予算への補正額

327万5千円

・補正後の歳入歳出予算総額

32億8127万5千円

○令和4年度白浜町下水道事業特別会計補正予算(第1号)

既定予算への補正額

△71万6千円

・補正後の歳入歳出予算総額

4億1878万4千円

報告

○令和3年度白浜町継続費繰越について

令和3年度白浜町繰越明許費繰越について

令和3年度白浜町水道事業特別会計予算繰越について

令和3年度白浜町土地開発公社経営状況の提出について

工事請負契約の締結

【工事名】

岡里橋更新工事

【契約金額】

1億3090万円

【契約の相手】

白浜町2926番地の374株式会社平建設

ほか3件

物品購入契約の締結

【品名】

小型動力ポンプ積載消防自動車

【契約金額】

957万円

【契約の相手】

新宮市神倉4丁目1の48株式会社山口商会 新宮支店

人事案件

次の方が当選されました。

○白浜町選挙管理委員 (敬称略)

・垣本 朝時

・牛島 安二

・宮前 博

・川井 照夫

○白浜町選挙管理委員補充員

・辻 政信

・田井 郁也

・青山 茂樹

・岩城 祐朗

次の方を適任と認めました。(敬称略)

○人権擁護委員

・田野 トミ代(瀬戸)

▽令和4年第3回臨時会

令和4年第3回臨時会は、5月2日招集、1日間の会期で開催され、当局提出議案、議員発議案件等について審議し、全て可決、同意しました。

補正予算

○令和4年度白浜町一般会計補正予算(第2号)

・既定予算への補正額

8280万円

・補正後の歳入歳出予算総額

119億3165万円

主な補正内容は次のとおり

【総務費】

・観光防災ポータル実装事業

2990万円

・耐災害ネットワーク実装事業

5290万円

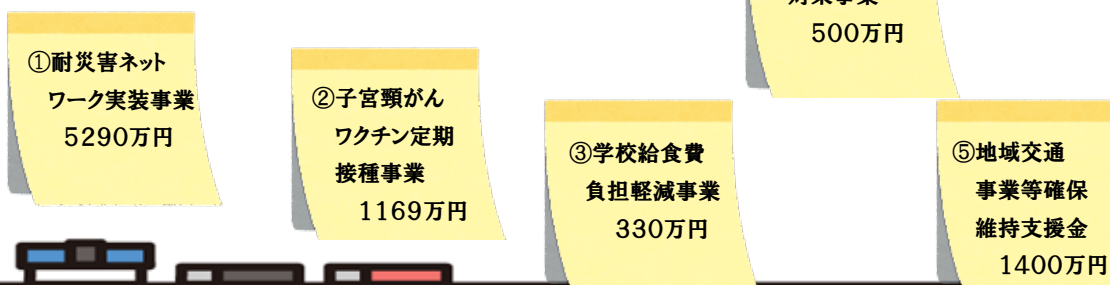
人事案件

選任について、次の方を同意しました。(敬称略)

○白浜町副町長の選任について

・愛須 康徳(湯崎)

議案審議をピックアップ!



Pick up! 1

耐災害ネットワーク実装事業

5290万円

臨時会

デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用した2事業を含む、一般会計補正予算を第3回臨時会で可決しました。交付金事業は次のとおり

- ① 観光防災ポータル実装事業
・予算額…2990万円
 - ② 耐災害ネットワーク実装事業
・予算額…5290万円
- 概要…非常用電源設備の強化やネットワークエリアの拡大等、災害時におけるネットワークの強靱化を進めることで、観光客やワーケーション利用者の利便性等の向上に加え、転職なき移住やIT企業の誘致の促進を図るもの。

※デジタル田園都市国家構想推進交付金とは、デジタル技術の活用により、地域の個性を生かしながら地方を活性化し、持続可能な経済社会を目指す「デジタル田園都市国家構想」を推進する地域の取組を国が支援するもの。



問 本事業は、観光客やワーケーションの方を対象としている印象を受けるが、今後、直接的に白浜町民を対象とした事業を実施する予定はあるか。

答 非常用電源設備等の強化を図ることで、停電になってもネットワークが72時間稼働することができ、観光客の方だけでなく、地域に住んでおられる方にも大きなメリットになると考えている。また、町民の方々が不便を感じているところがあれば、取組の中に今後追加できればと考えている。

Pick up! 2

子宮頸がんワクチン定期接種事業

1169万円

定例会

○概要

子宮頸がんワクチンの定期接種については、接種後における多様な症状が報告され、国の方針により積極的勧奨が控えられてきたが、この度、ワクチンの安全性・有効性が示されたことから積極的勧奨を再開するもの。

○対象者

①標準接種対象者

中学1年生～高校1年生（13歳から16歳）の女子

②キヤッチアップ接種対象者

積極的勧奨を差し控えている間に接種の対象であった17歳から25歳の女性

○接種回数

1人につき3回

○接種方法

各医療機関における個別接種（接種費用は全額公費負担）

問 実施のスケジュールは。
答 7月から案内を開始する。

問 安全性が確認されたため積極的勧奨を再開することであるが、白浜町でも健康被害などの症例報告はないか。また、本人の意思で接種を希望しないことも可能か。

答 子宮頸がんワクチン接種による白浜町での健康被害の症例報告は確認していない。また、接種は強制ではなく、本人または保護者の同意により行うので、接種者の不安を取り除けるよう、必要な情報の提供に努めていく。



Pick up! 3

学校給食費負担軽減事業

330万円

定例会

○概要

コロナ禍における物価高騰に伴う町立小中学校の学校給食費の値上げ分を支援することにより、保護者の負担軽減を図るもの。

○予算額

給食材料費…330万円

○財源

・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金



問 対象となる学校は。

答 給食費の値上げを行った学校が対象となり、白浜第一小学校、富田小学校が該当する。

また今後、西富田小学校、白浜中学校、富田中学校においても値上げを検討しており、値上げを行った際には、同様に町から支援を行っていく。

問 支援額は。

答 給食費の改正により、値上げとなった額を基準に、児童生徒の食数に応じて支援を行う。

問 期間は。

答 今回の事業は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業であり、令和4年度のみが支援の対象期間となる。



Pick up! 4

燃油価格高騰対策事業

500万円

定例会

○概要

コロナ禍における燃油価格の高騰が経営の大きな負担となっている施設園芸農業者と漁業者に対して、燃油購入費の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を図るもの。

○予算額

・燃油価格高騰対策事業補助金 500万円

○財源

・新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金



問 助成の対象となる燃油の購入期間は。

答 施設園芸農業者は令和3年10月1日から令和4年5月末、漁業者は令和3年4月1日から令和4年3月末までを算定期間として、助成を行っていく。

問 対象の経費は。

答 それぞれの算定期間内に30万円以上の燃油を使用した場合に助成の対象となる。

また、対象となる燃油は、施設園芸農業者でA重油、灯油、LPガス、漁業者でA重油、軽油、ガソリンを対象とする。

問 助成の対象者は法人だけでなく、個人経営者等も含まれることから、きめ細かな周知が必要と考えるが、周知方法は。

答 町の広報紙、ホームページでの周知に加え、農業協同組合、漁業協同組合からも組合員等に積極的に呼びかけを行っていた。あくまで予定としている。

Pick up! 5

地域交通事業等確保維持支援金

1400万円

定例会

○概要

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている旅客等運送事業者へ支援金を交付することにより、経営の負担緩和を図るとともに、町内公共交通機関等の安定的な運行及び町民の日常的な移動手段の確保に資する。

○対象

・町内に営業所又は登録のある旅客運送事業者（国土交通大臣又は公安委員会の許可を受けているもの）

○支援額等

・1事業者当たり
法人50万円
個人20万円

・1車両等当たり
路線バス10万円
貸切バス10万円
タクシー等5万円
船舶20万円

○財源

・新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金

問 交通事業者等の経営実態を町は把握できているか。また、実態に応じた配分で支援が可能な制度となっているか。

答 支援金の支給に際しては、特定の期間における事業収入の減少が要件となることから、本支援金を申請いただくことで事業実態を把握できるものと考えている。

また、事業者等が保有する車両等の数に応じて支援額を算定するなど、実態に応じた配分で支援を行えるものと考えている。



討論のあった議案

議案第56号「令和4年度白浜町一般会計補正予算（第3号）議定について」の議案審議において、「地域活性化起業人制度派遣人材受入事業」について、廣畑議員が質疑、反対討論を行いました。起立採決の結果、賛成多数により、原案は可決すべきものと決しました。

賛成○ 反対×	採決結果	正木秀男	長野 莊一	堅田 府利	溝口耕太郎	廣畑 敏雄	横畑 真治	西尾 智朗	水上久美子	松田 剛治	小森 一典	黒田 武士	辻 成紀
議案第56号	可決すべきもの	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○

※議長（正木秀男）は採決には加わりません。

反対

*議案第56号 廣畑議員 質疑（要旨）

問）起業人の派遣受入れに際し、住民の個人情報等が流出しないか危惧する。

答）起業人には守秘義務が課せられており、また、住民の個人情報等を管理するシステムにアクセスする権限も与える予定はないため、危惧されるような情報漏洩の可能性はないものと考えている。

*議案第56号 廣畑議員 反対討論（要旨）

諸外国ではデジタル化を進めていく中で、個人情報の取扱いを監督する機関を設置し、データ利用の監視に努めているが、我が国ではそういった取組がされておらず、個人情報の漏洩が危惧されるため、本件に対して反対する。

決議

令和4年第3回臨時会において、以下の決議を全会一致で可決しました。

ロシアによるウクライナ侵略について抗議する決議

令和4年2月24日に始まったロシア軍によるウクライナ侵攻はウクライナの主権及び領土の一体性を侵害し、明らかに国連憲章と国際法に違反する行為であり、国際社会の平和と安全を著しく損なう断じて容認することができない暴挙である。

また、プーチン大統領が今回の軍事侵攻に際して核兵器の使用を示唆していることは、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を切に願う、唯一の被爆国日本のその「思い」を踏みにじるものである。

白浜町議会は、ロシア軍による攻撃やウクライナの主権侵害に対して厳重に抗議するとともに人々の尊い命と平和を理不尽に奪う侵略行為を直ちに中止し、完全かつ無条件での撤退を強く求めるものである。

国においては、国際社会と連携し、あらゆる外交手段を駆使し、ロシア軍の撤退を促し、また国民生活への影響対策について万全を尽くし、一日も早い平和的解決に全力を尽くすことを要請する。

以上、決議する。

令和4年5月2日

和歌山県白浜町議会

意見書

発委第7号「国民の祝日「海の日」の7月20日への固定化を求める意見書の提出について」廣畑議員が反対討論を行い、起立採決の結果、賛成多数により、原案は可決すべきものと決しました。

賛成○ 反対×	採決結果	正木秀男	長野 莊一	堅田 府利	溝口 耕太郎	廣畑 敏雄	横畑 真治	西尾 智朗	水上 久美子	松田 剛治	小森 一典	黒田 武士	辻 成紀
発委第7号	可決すべきもの		○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○

※議長（正木秀男）は採決には加わりません。

*発委第7号 廣畑議員 反対討論（要旨）

1941年12月に真珠湾攻撃で対米英戦争が開始され、この侵略戦争の遂行上、海上輸送で船員や船舶の徴用と調達のために海運関係者だけでなく、国民こぞって支援の雰囲気をつくる狙いで海の記念日が設けられた。逓信省管船局の提唱で7月20日とされたのは、1876年7月16日、明治天皇が東北民衆の不満を抑えるために軍艦でなく、汽船「明治丸」で青森、北海道方面に巡行し、20日横浜に帰ったことに由来する。

こうした海の日制定の歴史的経緯を引き継いで7月20日に固定化するのは、国民の祝日にふさわしくないこと。また、観光地である白浜町としては、3連休は大変魅力的であることなどから、当意見書に反対する。

反対

○可決された意見書は、以下のとおりです。

国民の祝日「海の日」の7月20日への固定化を求める意見書

国民の祝日「海の日」は、「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う」ことを趣旨として平成7年に制定され、平成8年7月20日から施行されておりますが、平成15年以降、いわゆるハッピーマンデー化により7月の第3月曜日となっております。

わが国と海との歴史的、文化的および経済・社会的な関わりならびに海の日の制定の歴史的経緯等を踏まえ、国民が海の大切さを理解し、その恩恵に感謝し、海の安全および環境保全について思いを馳せる機会とするためにも、「海の日」を当初の7月20日に固定化することを要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和4年6月22日

和歌山県白浜町議会

【提出先】

内閣総理大臣

国立病院の機能強化を求める意見書

戦後最悪といえる新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、感染対策のみならず、日本の医療体制のぜい弱さが浮き彫りとなりました。

新型コロナウイルス感染症に感染しても受け入れる病院・病床・スタッフの不足など、医療体制のひっ迫した状態が続き、療養施設や自宅待機を余儀なくされ、入院できぬままに亡くなるという痛ましい事例も相次いでいます。まさに「医療崩壊」の危機に直面する事態となっています。

国民のいのちと健康を守るのは国の責務です。そのためにも全都道府県にネットワークを持つ国立高度専門医療研究センター及び国立病院機構病院（以下「国立病院」と表記）の診療・研究にかかわる必要な経費に、国費を投入し、新興感染症対策など採算の取れないセーフティーネット系医療において中心的役割を果たすよう機能強化することが地域医療を守り、充実させることに繋がります。

また、新型コロナウイルス感染症蔓延時においては、人工呼吸器やECMO（人工心肺装置）等医療機器や取り扱うスタッフが不足し、重篤患者への対応が十分に出来ませんでした。さらに現場ではマスクや個人防護服などの必要物品が欠乏し、大幅な人員不足のうえに、十分な感染対策も出来ないまま、患者対応をせざるを得ない状態にも陥りました。このように必要な人員、医療機器、物品が欠乏し、国民の命が救えないなどという状況はあってはならないことであり、国が責任を持って対策に取り組むことが必要です。

国立病院を機能強化し、憲法25条に保障された国民の生存権及び、国の社会的使命を果たすよう、以下の事項を強く要望します。

記

- 1 コロナ等の感染症や、発生が想定されている南海トラフ巨大地震などの大規模災害から、国民のいのちを守るため国立病院機能を強化すること。
 - ① 国の責任において、国立病院に「新興・再興感染症対策」に十分対応できる専門病床を設置し、人工呼吸器やECMO（人工心肺装置）等の医療機器を整備すること。
 - ② 「大規模災害」等の発生時においても、患者・国民に万全な医療が提供できるよう国立病院の機能強化を図ること。
- 2 国立病院の機能強化を図るため、医師、看護師をはじめ必要な職員を増員すること。
- 3 国立病院の機能強化に必要な財源は、国の責任で確保すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年6月22日

和歌山県白浜町議会

【提出先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣、総務大臣

問 ドクターへり臨時離着陸場管理の対策は

答 地元管理が基本であるが、今後検討を要する

問 少子高齢化が進む玉伝地区では、休耕田に開設された臨時離着陸場の今後の運営管理と未舗装である搬入路の整備が急務となっている。当局の見解を伺う。

答 搬入路は農道であるため、当町では受益者負担が原則となることから、工事費の全額を町が負担することは困難であると考える。

しかしながら、当臨時離着陸場を維持管理していただいている民間業者が撤退する令和5年3月以降も、地域住民だけで維持管理していくことは大変厳しい状況であると理解するところであり、住民サービス及び救急医療体制を低下させることのないように、今後の検討課題とさせていただきます。



こもり かずのり
小森 一典 議員



QRコードの有効
期限は9月下旬まで



(玉伝地区臨時離着陸場)

若手職員の人材育成と採用試験の多様化について

問 昨今、多様化する社会構造の変化に伴い、住民の求める行政サービスも複雑多様化し、町職員は多様な視点や柔軟な発想が求められる。白浜町では、どのような職員の人材育成に取り組まれているか、当局の見解を伺う。

答 白浜町職員人材育成基本方針に基づき、白浜町職員研修等協議会において予算事務実務研修等を進めている。

更に県内外の先進地の状況も考慮しながら、今後の職員研修について幅広く検討をし、職員の資質向上に努めたい。

問 空き家などを活用した白浜町独自の支援策は

答 財源や事業の継続性など、総合的に検討を進める

問 和歌山県での空き家率は、全国第2位で20%を超え、いわば5件に1件が空き家となるなど、非常に高い比率となっている。現状の把握と今後の対策を伺う。

答 白浜町には1272棟の空き家があり、倒壊の恐れがある空き家を早期に整備していただくよう努めている。また、今後の対策として、空き家を有効活用した支援策など、補助金以外の対策も検討が必要であると考えている。

耕作放棄地について

問 日置川地域における耕作放棄地について、後継者不足や担い手がなく、作物が育っていない田畑が多く見受けられるが、現状の把握と今後の農業支援について対策を伺う。

答 個別のサポートは難しいが、高収益な作物に切り替え、根本的な見直しを行えば、改善は可能と思う。農協などと連携しながら、取り組みたい。

学校給食の無償化について

問 既に県内でもいくつかの市町村で学校給食の無償化を行っているが、長引くコロナと物価上昇に対する支援について、町の考えを伺う。

答 令和4年度中に給食費の値上げをする学校において、その物価高騰による値上げ分について臨時交付金を活用し、保護者負担の支援を行っていききたい。



よこはた しんじ
横畑 真治 議員



QRコードの有効
期限は9月下旬まで



(持続可能な開発目標 SDGs)



かたた あつし 堅田 府利 議員

QRコードの有効
期限は9月下旬まで



問 白浜町が目指すデジタル化の将来像は

答 デジタル化による地域課題の解決を図る

問 デジタル田園都市国家構想は岸田内閣の重要政策であるが、私たちの社会にどういった変革を与えるのか伺う。

答 デジタル実装を通じて地方が抱える課題を解決し、誰一人取り残されず、すべての人がデジタル化のメリットを享受できる心豊かな暮らしを実現するという構想で、地方と都市の差を縮め、都市の活力と地方のゆとりの両方を享受できる社会の実現を図っていくとするものである。

答 デジタル田園都市国家構想推進交付金事業の取組等は行っているが、デジタル化の取組は始まったばかりなので、各分野で検討を進めていく。

問 観光、交通、防災、農業などあらゆる分野でデジタル実装により地域の課題を解決できるとされている。町長の今後のデジタル化に向けた抱負を伺う。

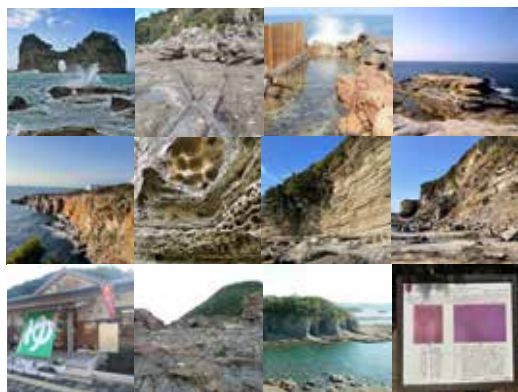
答 白浜町に適したコンテンツを的確に把握し、実情に合わせた形で導入を進めて行く必要があると考えている。まずは、専門担当部署の設置を含めた行政内での取組を進め、白浜町が取り組むべきデジタル化の将来像を確立させ、他の地域をリードできるよう検討を続けていく。

問 ジオ資源を活用した観光施策の展開は

答 ジオサイトを保全し観光資源への活用を図る

問 白浜ジオポイントが12か所。観光とジオ資源活用し保全や町の考え方について説明を求めます。

答 今後環境面にも目を向けた取組も行いながら、ジオサイトとその周辺を保全しつつ、観光資源として活用していきたい。



(白浜町のジオサイト 12か所)

問 空き家の活用と対策について。空き家の放置は倒壊の危険があり、近隣住民に迷惑である。現状を伺う。

答 2016年の空き家実態調査で1272棟の空き家があることが判明し、中でも倒壊の恐れがある空き家が107棟ある。令和4年3月末までの所有者調査件数は215件、その内61件の解体と30件の修繕等、整備いただいている。

移住定住施策について

問 移住、定住の実績を聞く。数値目標や支援策は必要、考え方は。
答 第2次白浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略の中に、直近5年間の転出超過累計に関する目標値は、2016年から2020年



みずかみ くみこ 水上 久美子 議員

QRコードの有効
期限は9月下旬まで



の転出超過累計が255人であったものを2021年から2025年は40人に削減することと設定されており、目標達成に向けて取組を継続していく。

問

高齢者等の交通手段確保に向けた今後の取組は

答 ニーズや地域性を加味し、よりよい事業に展開

問 高齢者タクシー券助成事業について、地域性、妥当性を総合的に判断し、助成率の引上げを行うなど、より利用しやすい制度とすべきではないか。

答 町の現交通施策と併せて町民のニーズや地域性、交通機関との調整等を加味しながら、よりよい事業に展開していきたい。

若者の定住促進について

問 子育て世代への支援として、「給食費無償化」、「高校生への通学電車の補助」を検討しては。

答 子育て世代への経済的負担を軽減することは重要であるが、高校生への通学電車代等の補助も含め、町の一般財源でこれら事業を継続して行っていくのは、財政的にも大きな課題がある。



辻成紀 議員



QRコードの有効期限は9月下旬まで



(町営住宅安宅第1団地)

問 子育て世代、また、若者世代が住みやすい定住促進の拠点として、町営住宅の家賃の見直しや情報発信を検討されてはいかがか。

答 家賃は法律の定めにより算定しており、公平性から考えて一部の町営住宅の家賃算定方法を見直すことは困難であり、ご理解をいただきたい。

問 若者世代が少しでも入居しやすいように、定住支援事業として町営住宅を活用できないか。

答 町営住宅を活用した取組としては、公営住宅法等のルールがあり困難であるが、若者定住対策については、白浜町としても課題であると認識しており、様々な観点から研究していきたいと考える。

問

農業者数減少による課題への町の対策は

答 農業基盤整備に係る負担金の引下げを検討

問 今現在の町の農業支援策にはどういったものがあり、支援の実績はどうか伺う。

答 国の制度の活用に加え、町独自の補助金制度を創設し、地域の共同活動に対し、様々な支援を行っている。

問 農業用水路の修繕工事に対する町の補助制度はどうなっているか。

答 また、町の補助率の引上げや地元負担割合の統一化を図るべきと考えるがいかがか。

問 補修等の費用に対する補助制度として、地元が町と同程度を負担している。

答 将来的に地元負担金を全町的に引下げ、負担軽減につなげたい。



(農業用水路)

問 農業用水の管理について、水利組合といった管理団体の実態について、町は把握できているのか伺う。

答 管理団体は、地域の実情により様々な形態がある。

近年、過疎化により自然消滅している地区もあるので、全ては把握できていない。



溝口耕太郎 議員



QRコードの有効期限は9月下旬まで

このほか、溝口議員は「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について」、「かわまちづくり支援制度について」質問しました。

問 子育て支援の充実に向けた町の考えは

答 現状の課題解決を優先し、今後支援策を検討

子育て支援の充実・学校給食の給食費無償化について 子育て支援の充実・子ども医療費助成制度の拡充について

問 学校給食を無償化することにより、子育て世帯への経済的負担の軽減につながるのではないかと考えるが、学校給食の無償化、または給食費減額の実現に向けた町の考えについて伺う。

答 財源が限られる中、負担軽減施策の支援や教育分野で取り組むべき重要な施策、課題も多いことから、現在のところ、給食費の助成と4年度中に給食費の値上げをする学校において、臨時交付金を活用し、値上げ分についての保護者負担支援を行っていききたい。

問 現在、県内でも約半数の市町村が子ども医療費助成制度の対象年齢を既に18歳まで引上げていくが、町の考えを伺う。

答 西牟婁郡内をみると、対象年齢の引上げを行っているのは、さみ町のみであり、財政的に大きな課題がある。

問 医療費助成制度の拡充については、財源的な課題もあるが、子育て世帯への支援策の1つとして検討していききたいと考えている。



くろだ たけし 黒田 武士 議員



QRコードの有効期限は9月下旬まで



(白浜町の学校給食)

問 町立図書館建設に向けた、町長の考えは

答 任期中には建設に向けた方向性を示したい

問 町立図書館建設は、十数年来の課題である。教育委員会の議決があり、町としての答弁もあった。その議決の重み、町長の取り組み姿勢について伺う。

答 図書館については、町民に親しまれ、文化の発信、交流の場となるよう場所や機能も含めて総合的に考え、任期中に方向性を示したい。

問 町立図書館建設は、十数年来の課題である。教育委員会の議決があり、町としての答弁もあった。その議決の重み、町長の取り組み姿勢について伺う。

答 5歳児相談では、これまで気づいていなかった発達の課題を保護者、保育者ともに気づくことができ、今年度も実施を計画しており、今後も評価を行い、よりよい相談となるよう取り組んでいく。

問 令和3年度から開始された5歳児相談の進捗状況はいかがか。保護者と保育者からのアンケート結果を踏まえた今年度の取組についても伺う。

答 今年度、新たな事業として民生課福祉係と連携し、発達に課題のある児童やフォロワーが必要な保護者に対する支援事業として親子教室を計画しており、ペアレント・メンター派遣も視野に、調整していくことも必要と考えている。

発達課題を抱える家庭への支援について

問 令和3年度から開始された5歳児相談の進捗状況はいかがか。保護者と保育者からのアンケート結果を踏まえた今年度の取組についても伺う。

答 今年度、新たな事業として民生課福祉係と連携し、発達に課題のある児童やフォロワーが必要な保護者に対する支援事業として親子教室を計画しており、ペアレント・メンター派遣も視野に、調整していくことも必要と考えている。



ひろはたとしお 廣畑 敏雄 議員



QRコードの有効期限は9月下旬まで



(町立図書館)

問

産前産後サポート事業充実への考えは

答 既存事業の課題を把握し、必要に応じ検討

問 産後ケア事業の充実として、助産師による訪問回数増加と利用料の軽減について伺う。

答 産婦の悩みや相談に対しては、随時、母子健康包括支援センターにおいて助産師や保健師による来所や電話での相談支援を行い、必要に応じて家庭訪問も行っており、今後、利用状況やニーズを踏まえながら検討していきたいと考えている。

带状疱疹予防接種助成事業
問 带状疱疹予防接種の重要性を鑑み、助成事業を実施すべきと考えらるかどうか。

答 接種費用の助成については、予算の伴うことであることや、医療機関との協議等も必要であるため、時間をかけて検討していく必要があると考える。

公立保育施設での使用済み紙おむつの処理について

問 公立保育施設での使用済み紙おむつの処理について、感染や衛生上の問題もあり、原則、保育施設で処分することはできないか。

答 現在、各園の状況に応じた運用方法があることをご理解いただきながら運用していきたい。

問 産前・産後の母親に寄り添い、家事や育児の訪問支援を行う養育訪問支援事業等の実施はどうか。

答 今後の状況をみながら、産後の心身ともに不安定な産婦の支援として検討が必要になる事業であると考えている。



まつだ たけはる 松田 剛治 議員



QRコードの有効期限は9月下旬まで



(サポート事業のイメージ)

▷▷ 町議会・町議会議長の主な動き (4月～6月)

4月4日	第2回臨時会 (第1日)	22日	日本青年会議所近畿地区和歌山ブロック協議会 第52回和歌山ブロック大会 白浜・田辺大会
5日	第2回臨時会 (第2日)		
6日	全国交通安全運動出陣式	26日	第74回和歌山県町村議会議長会定期総会
12日	議会広報特別委員会 白浜町社会福祉協議会地鎮祭	27日	英霊顕彰会理事会 和歌山県清掃連合会 令和4年度通常総会
25日	議会運営委員会 田辺市周辺町村議会監査	31日	議会運営委員会
27日	日置地区津波避難ビル竣工式典	6月1日	献湯祭 第60回和歌山県美術家協会展「第29回白浜展」 開会式
5月2日	第3回臨時会	7日	第2回定例会 (第1日)
3日	海開き安全祈願祭	16日	第2回定例会 (第2日)
11日	西牟婁郡町村議会議長会監査	17日	第2回定例会 (第3日)
14日	中地区津波避難ビル竣工式典	18日	白浜町シルバー人材センター一定時総会
17日	全員協議会	21日	第2回定例会 (第4日)
19日	西牟婁郡町村議会議長会	22日	第2回定例会 (第5日)
21日	田辺・西牟婁防衛協会定期総会	27日	和歌山県市町村振興協会評議員会

▷▷ 政務活動費の実績報告 (令和3年度分)

政務活動費とは、「白浜町議会政務活動費の交付に関する条例」によって、議員の調査研究等の活動に必要な経費として交付されるものです。

交付金額の上限は年額18万円と定められており、令和3年度の執行状況は次のとおりです。

(単位：円)

議員名 項目	堀 匠	楠本 隆典	廣畑 敏雄	西尾 智朗	正木 秀男	南 勝弥	小森 一典
調査研究費							5,960
研 修 費		6,000					
広報・広聴費		36,000	94,239			155,056	
要請陳情等 活 動 費							
会 議 費							
資料作成費							
資料購入費		68,022	39,572	40,372	19,800	37,400	40,800
事 務 所 費							
事 務 費		58,928	3,051		80,164		
人 件 費							
そ の 他							
合 計		168,950	136,862	40,372	99,964	192,456	46,760
交 付 額		168,950	136,862	40,372	99,964	180,000	46,760

議員名 項目	辻 成紀	松田 剛治	溝口耕太郎	長野 莊一	堅田 府利	水上久美子
調査研究費						
研 修 費						88,050
広報・広聴費			117,989			68,101
要請陳情等 活 動 費						
会 議 費						
資料作成費						
資料購入費	25,570		38,100	75,792	39,336	39,879
事 務 所 費						
事 務 費			73,493			
人 件 費						
そ の 他						
合 計	25,570		229,582	75,792	39,336	196,030
交 付 額	25,570		180,000	75,792	39,336	180,000

次回日程

次回定例会（9月）の日程（案）は、次のとおりです。

日	月	火	水	木	金	土
8/28	29	30 議会運営委員会 10:00～	31	8/1	2	3
4	5	6 開会日 第1日 提案説明等 10:00～	7 (休会) ※委員会開催や 議案調査のため	8	9	10
11	12	13	14	15 第2日 一般質問 10:00～	16 第3日 一般質問 10:00～	17 (休会)
18	19	20 第4日 議案審議 10:00～	21 閉会日 第5日 議案審議 10:00～	22	23	24

9月議会の日程は、8月30日（火）開催予定の議会運営委員会で決定します。
詳細は、議会事務局（43-6591）までお問い合わせください。

編集後記

町議会議員選挙後初の定例会となる6月議会では、一般質問に9名の議員が登壇し、活発な質問、意見が交わされました。議案審議では、コロナの影響で様々な困難に直面する方々への支援事業など、総額約3億円の一般会計補正予算が可決されました。

また、政府は6月10日から外国人観光客の受入れを約2年ぶりに再開しており、感染症対策の徹底と規制緩和が課題ではあるものの、コロナ禍で落ち込む地域経済の回復が期待されるところです。白浜町でも6年ぶりに5月3日から海水浴場を開設しており、迎え入れていただく町民の皆様、訪れていただく方々に安心安全な夏を感じてもらえるよう、オール白浜で感染防止対策等に取り組んでいます。（水上）

お知らせ

令和2年9月議会から、議会広報の一環として一般質問の様子をFMビーチステーションにて放送しております。（76.4MHz）

多くの方に聞いてもらえるよう、また、新型コロナウイルス感染症対策として議会の傍聴をお控えになる方にかんがみまして、限られた時間ではございますが、放送を始めしております。放送予定については、議会のホームページ等でお知らせしていますので、是非聞いてみてください。

議会広報特別委員会

委員長 水上久美子
副委員長 黒田 武士
委員 堅田 府利
横畑 真治
西尾 智朗
辻 成紀

町議会に関する情報は「議会ホームページ」へ

